

「平和をつくる」地区大会の3日目午前の部に
ようこそおいでくださいました
まずミュージックビデオを楽しみましょう
神との平和な関係を築くなら幸せになれる とい
うことが分かります
どうぞお楽しみください
兄弟姉妹 こんにちは
3日目の主題はローマ 15:13 に基づいています
「希望を与える神が……皆さんを
あらゆる喜びと平和で満たしてくださ [る]」と
いうものです
では一緒に 101 番の賛美の歌
「一致して共に働く」を歌いましょう
歌は 101 番です
私たちは時折
平和をつくるのがとても難しいと覚えることがあ
ります
どんなときでしょうかどう対処できるでしょうか
そうした点を 7 部から成るシンポジウムで考え
ます
平和の種をまいて平和を刈り取った人たちの手
本に
どのように倣えるかを学びます
まず 奉仕委員会の援助者
ウィリアムターナー兄弟の話に耳を傾けましょう
主題は
「平和の種をまいて平和を刈り取った人たち
ヨセフと兄たち」です
聖書には クリスチャンが生活の指針にできる
基本的な原則がたくさん収められています
例えば 格言 13:20 には
「賢い人たちと共に歩むと賢くな [る]」とあり
ます
格言 28:20 によると
「忠実な人は多くの祝福を受け」ます
皆さんも大切にしている原則があることでは
うか
では 平和をつくることに関してはどうでしょ
うか
1 つの重要な原則を思いに留めている必要があり
ます

どんな原則でしょうか
一緒にガラテア 6 章を開きましょう
注目したいのは ガラテア 6 章の
7 節と 8 節です
こうあります
「思い違いをしてはなりません
神はご自分を侮る者を大目に見ることはありま
せん
人は自分がまいているものを必ず刈り取ることに
なります
罪深い欲望のままにまいている人は
罪深い欲望によって腐敗を刈り取り
聖なる力に導かれてまいている人は
聖なる力によって永遠の命を刈り取ることになる
のです」
原則は まいたものを刈り取るということです
農業をする人は
当然 自分が刈り取りたいものの種をまきます
そして すぐには実がならないことを理解してい
ます
でもいずれ実がなることを確信してその時を待ち
ます
平和もそれと似ています
平和を刈り取るには平和の種をまかなければなり
ません
そして いずれ平和を刈り取れることを確信し
努力しながらその時を待ちます
このシンポジウムでは古代や現代のエホバの民の
例を考えます
問題に直面しながらも
平和の種をまいて刈り取った人たちの例です
さて 平和を乱すものの 1 つに家族間の問題があ
ります
不完全さのせいで
家族との関係が緊張するということがあるかもし
れませんが
互いを傷つけるようなことを言ったりしたりする
こともあります
でも大抵はささいなことなので
すぐに平和の種をまいて刈り取れるでしょう

でも もっと深刻な場合はどうでしょうか
家族が言ったりしたりしたことのせいで深く傷つ
いたとします
そういう時でも 平和の種をまいて
平和を刈り取ることは不可能ではありません
聖書に出てくるヨセフと兄たちの例からそのこと
を考えてみましょう
よく知っている話ですね
兄たちはヨセフをねたんで奴隷として売りました
これはささいな過ちではありませんでした
ヨセフはエジプトに連れていかれます
そして後に無実の罪で牢屋に入れられます
それで 13 年もの間
ヨセフはひどい目に遭いました
何も悪いことをしていないのにです
ヨセフは次のように考えたでしょうか
「また兄たちに会えたとしても
お互いの平和のために
もう一切関わりを持たないようにしよう」
そう考えたとしても無理はありません
でもヨセフは違いました
それからしばらくたった後
ヨセフも兄たちも平和の種をまきます
どうしてそうできたのか詩編 105 編を見てみま
しょう
詩編 105 編の 19 節を読みましょう
特に前半の言葉に注目したいと思います
「エホバの言葉が彼を磨き上げた」
ヨセフはエホバに磨き上げていただき
エホバに倣った考え方や振る舞い方を心掛けま
した
憤りを抱きませんでした
ヨセフが兄たちにひどい目に遭わされたと
誰かに話したというようなことは
聖書のどこにも書かれていません
ファラオにさえ
自分が兄たちに奴隷として売られたということは
話さなかったようです
兄たちはどうでしたか
何年もたってからエジプトでヨセフに会います

ヨセフはわざと末の弟であるベニヤミンをひいき
して
兄たちを試しました
でも兄たちは変化していました
人をねたまなくなっていたのです
弟や父親ヤコブのことを深く気遣っていました
ヨセフは兄たちが悔い改めたのを見て
許しました
ヨセフも兄たちも
平和の種をまくように努力したので
とても良い結果を刈り取ることができました
また家族として仲良く暮らすことができたのです
このヨセフと兄たちの例から何を学べるでしょ
うか
次のビデオの中で
どのように平和の種がまかれたかに注目しまし
よう
ジェレミーは毎朝 本当に毎朝
すっごく大きな声で歌ってたんだ
いや 僕だけじゃないよ
そうだけど でも一番大きかったよ
兄さん いつもそういうことばかり言う
2 人は本当にいつも仲がいいですね
うん でも
そうじゃないときもあった
うん でも もともと仲は良かったんだ
兄と弟というよりは
友達だった
うちは家族で仕事をしてたんだけど
問題が起きてささいなことから口論になった
おまえはうちの仕事の流れが全く分かってない
んだ！
批判ばかりしないで一度くらいこっちのこと
も・・・
ジェレミー！
これ どれだけコストかかるか分かってんのか？
しょうがないだろこっちは聞いてなかったんだ
から
足引っ張んなよ！
引っ張ってるのは兄さんだろ！

仲良くやろうと努力した
でも 悪くなる一方だった
2 人の間に厚い壁を感じた
人前では普通に振る舞っていた
でも 心の中では全然許していなかった
自分が偽善者のように感じた
このままじゃいけないと思った
エホバの助けがどうしても必要だった
心から許して
ニックと仲直りするために
傷が癒えるには時間がかかった
以前のように信頼し合えるようになるにも
でも仲直りできた
平和な関係を取り戻せて本当に良かった
世界が大変なことになる前に
では どうすればヨセフと兄たちに倣えるでしょう
か
3 つの点を考えましょう
最初の点はエフェソス 4 章の 32 節にあります
読んでみましょう
エフェソス 4:32
「親切な人になり
温かい思いやりを示し合い
神がキリストによって寛大に許してくださったよ
うに
寛大に許し合いましょう」
1 つ目に 人を寛大に許す必要があります
もし憤りや恨みの気持ちを募らせてしまうなら
許すのが難しくなることでしょう
ビデオの中で ニックとジェレミーはささいなこ
とがきっかけで口論になり
深刻な仲たがいがへと発展しました
なぜでしょうか
ジェレミーが兄のニックに対して憤りを抱き続け
たからです
エホバが寛大に許してくださるように
私たちも人を許さなければなりません
2 つ目の点は
いつまでも根に持たないことです
格言 17:9 には

「くどくど言う人は親友を引き離す」と書かれて
います
ジェレミーもそういう状態になっていましたね
兄との間に壁を感じていました
でも 平和の種をまくように努力しました
兄と腹を割って話し合うようにし
共に時間を過ごし一緒に奉仕もしました
それでやっと 2 人の仲が改善されました
とはいえ
すぐに元通りにはなりませんでしたね
2 人が心の傷を癒やして
再び信頼し合うには
かなりの時間が必要でした
すぐに成果を期待せず
じっくり取り組むことが大切です
農業をする人のように
実がなるのを辛抱強く待って努力するなら
いずれ平和を刈り取ることができるでしょう
では 3 つ目のとても重要な点です
憤りの気持ちを捨て去ることができるように
エホバに助けを祈り求めます
ヨセフのことを思い出してください
詩編 105:19 にあったように
「エホバの言葉」に助けられ磨き上げられたので
憤りを捨て去ることができました
ビデオの中で ジェレミーもエホバの助けのおか
げで
ニックを心から許して仲直りすることができま
した
エホバは私たちも助けてくれます
家族との平和な関係が損なわれると つらいもの
です
でも まいたものを刈り取るという原則を思い
留めて
平和の種をまきましょう
先ほど考えたように 寛大に許し
いつまでも根に持たないようにし
エホバに助けを求めるなら
その努力は祝福されます
そしてきっと 平和を刈り取って

家族で仲良く幸せに暮らせることでしょう
次に 教育委員会の援助者ロナルドカーザン兄弟が
「平和の種をまいて平和を刈り取った人たち
ギベオンの人たち」という話をします
はるか昔から今に至るまでずっと
ある対立が続いてきました
どんな対立でしょうか
不従順な人間たちが
エホバの意志に逆らってきたのです
多くの人たちがエホバの望まれることを行おうとせず
エホバと和解することを拒んで
平和を壊してきました
一方で 歴史を通じて大勢が
喜んでエホバの望まれることを行い
エホバの考えに合わせてきました
その人たちは平和をつくってきたのです
その人たちは平和の種をまいて
エホバとの親しい平和な関係を刈り取ってきました
新しい平和な世界で永遠に生きる希望も持っています
とはいえ 時として エホバからの指示を受け入れて従うことを
難しく感じることもあるかもしれません
それにはエホバの組織からの指示も含まれます
指示の理由がよく分からなかったり
自分の考えと違ったりすると
特に難しく感じるものです
平和を刈り取るには何が必要でしょうか
謙遜さです
謙遜さとは 自分を低く見ることであり
傲慢さが全くないことです
謙遜な人は 自分のしたいようにしようとはせず
エホバや他の人たちと平和な関係でいることを優先します
いつも平和をつくるようにするのです
謙遜に平和の種をまくとどんな結果になるでしょうか

格言 22:4 の言葉に注目しましょう
どんなものを刈り取れるでしょうか
「謙遜さとエホバへの畏れがもたらすのは
富と栄光と命である」
そう 永遠の命です
聖書には 謙遜にエホバの意志に従うことによって
平和の種をまいた人たちの例がたくさん出てきます
ギベオンの人たちの例を考えましょう
彼らは最初 イスラエル人の敵ではなかったのでしょうか
はい
では どのように謙遜に平和の種をまいて平和を
刈り取ったのでしょうか
ヨシュアが率いるイスラエル人が
ヨルダン川を渡って約束の地に入った後
エホバは彼らにカナンを滅ぼすようにと指示しました
当然 ギベオンの人たちも含まれていました
ヨシュア 9 章から分かるようにギベオンの人たちは
カナン人を全て滅ぼすことがエホバの意志であることを
はっきりと知らされていました
イスラエルがエリコとアイを打ち負かしたことから
エホバがイスラエル人のために戦っていることは明らかでした
ギベオンの人たちは恐れしました
でも 滅びることがエホバの意志なら何ができる
のでしょうか
ある名案を思い付きました
代表者たちを送って イスラエル人とエホバと和平を結ぶことにしたのです
9:11 にはこんな言葉があります
「私どもはあなた方に仕えます
どうか私どもと契約を結んでください」
これが和平を求める言葉でした
4 節には 彼らが「抜け目ない行動を取った」とあ

ります

ぼろぼろの服や持ち物で

イスラエル人たちをだまそうとしたのです

実際には 30 キロほどの距離でしたが

非常に遠い土地から来たように見せ掛けました

うまくいったでしょうか

だますのは良くないことでしたが計画通りにいき
ました

15 節にあるようにヨシュアはギベオンの人た
ちと

平和の契約を結びました

このことはエホバの意志に沿っていたと言えます

そして ギベオンの人たちの謙遜さと

平和を求める態度の表れでした

ギベオンの人たちは与えられた指示に従うことに
よって

エホバの意志やエホバの代表者である

ヨシュアに従う謙遜さを表しました

27 節にはこう書かれています

「その日 ヨシュアは彼らを

民およびエホバの祭壇のために

まきを集める者 水をくむ者とした」

ギベオンの男性たちは腕の立つ戦士だったと思わ
れますが

清い崇拜をサポートするために

どんな仕事でも喜んで行いました

謙遜に指示に従ったので

命が守られ 平和を味わいました

どうすればギベオンの人たちに倣えるでしょうか

エホバの意志に沿った生き方をすることによって
です

かなり大きな変化が必要な場合もあります

考え方をえたり 悪い習慣をやめたり

良くない交友を避けたりします

ほかにもギベオンの人たちに倣える点は

清い崇拜をサポートするために

与えられるどんな割り当ても喜んで果たすこと
です

何が分かりましたか平和を刈り取るには

謙遜に指示に従う必要がある ということです

そのことが次のビデオの中で強調されています

エホバの指示に従うなら良い結果になります

そうだった

パンデミックがあんなに長く続くとは誰も思わな
かった

いろいろなニュースが飛び交って

何を信じていいか分からなかった

妹が失業してうちに引っ越してきた

それで 私とケリー 妹 父の 4 人で暮らすことに
なった

20 秒だぞ 手洗いは 20 秒

行ってくんね

うん

あ マスクは？

要らない

これ これ使って

ちゃんとディスタンス取るから

兄さん？

職場では誰もマスクなんか着けてないんだ

会社で何人感染したか知ってる？ ゼロだよ

今はまだね この間の統治体からの話 見ただろ

警戒を緩めちゃいけない 油断するな

そんなの分かってるよ

そりゃ 僕たちを守ろうとしてくれてるっていう
のはうれしいけど でも・・・

でも何？

でも ちょっと兄弟たち深刻に考え過ぎじゃな
い？

でももちろん 統治体の兄弟たちは間違っていな
かった

私が間違っていた

1 週間後 グループの若い兄弟が

コロナで入院した

兄弟はしっかり感染対策をしていたのに

自分が油断していたことに気付いた

今は警戒を緩めるべき時ではありません

油断することなく

用心し続けましょう

「うちの家族は大丈夫」とは考えないでください

エホバの組織が私たちを本当に守ろうとしていた

こと

自分の決定が他の人に大きな影響を与えること
家族にも影響を与えることが分かった
パンデミックが続く中
謙遜に従うことがいかに大切かを学んだ
エホバからの指示に従うことで
安全に暮らせるだけでなく
平和でいられる
タイムリーな内容でしたね
今の状況にぴったり当てはまっていた
ビデオに出てきた兄弟のように
私たちも自分の意見や好みを重視するのではなく
エホバの指示に謙遜に従うために
考え方を調整する必要があるかもしれません
もちろん エホバを代表している
「忠実で思慮深い奴隷」の指示についても同じこ
とが言えます
大切なことを学べました
謙遜に指示に従うなら
家族が安全に暮らすのに役立つだけでなく
幸福や平和を味わえます
ぜひ覚えておきたい点ですね
いつも謙遜に指示に従う上で
どんなことが助けになるでしょうか
エフェソス 5:17 で
使徒パウロがどんなことを述べているかに注目し
ましょう
「もう無分別なことをしてはなりません
いつでも エホバが何を望んでいるかを見極めま
しょう」
聖書を読むと エホバが望んでいることが分か
ります
でも エホバの考えがはっきり分からない時や
自分の状況にどう当てはめたらいいかがよく分
からない時は
どうしたらいいでしょうか
パウロによれば「エホバが何を望んでいるかを見
極め」ることが大切です
何ができますか貴重な宝石を見つけるために
地面の下を深く掘っていく必要があるように

聖書を表面的に読むだけで満足してはなりません
聖書を深く掘り下げて調べるようにし
宝石のような聖書の原則を見つける努力を払いま
しょう
そして 祈りながら自分にどう当てはまるかを考
えます
そうすると エホバと同じような考え方ができる
ようになっていきます
エホバの考えを見極めるようにすれば
自分の考えに固執しなくなるはずです
エホバの指示や統治体からの指示にも
喜んで従おうという気持ちになります
ギベオンの人たちのように平和の種をまき
エホバやエホバの民と平和な関係でいられるよう
にしましょう
謙遜にエホバの意志に従うなら
平和を刈り取っていつまでも幸せに暮らせるで
しょう
次に 教育委員会の援助者ケニスフローディン兄
弟が
「平和の種をまいて平和を刈り取った人たち
ギデオン」という話をします
これからギデオンの例について考えたいと思
います
この話ではどんな問題を取り上げると思いますか
次の点です
仲間のクリスチャンとの間の不和です
不和などあるのでしょうか
イエスは 自分の弟子たちは愛によって見分け
られると言ったのではないですか
もちろんそうです
クリスチャンにとって愛が一番大切であり
私たちはその愛を感じます
でも 私たちはいわば不完全さに染まっています
そのせいで不和が生じてしまうことがあるので
すヤコブ 3:2 は率直に
「私たちは皆 何度も過ちを犯します」と言ってい
ます
毎日とかしょっちゅうではないとしても何度も過
ちを犯してしまうのです

誰かを傷つけてしまうかもしれません
感情を害するようなことを言ってしまった
逆に言われたりします
大抵はわざとではなく単なる誤解だったりします
悪気はなく 何気なく言った言葉が
相手の気に障る場合もあります
自分が言ったことやしたことに対して
思いがけない反応が返ってくる場合もあります
いずれにしても 不和が生じたなら
平和の種をまいて平和を刈り取らなければなりません
種をまいてから実を刈り取るまであまりかからない場合もあります
このシンポジウムの最初の話でも考えた通り
農業をする人のように 実がなることを確信して
種をまきましょう
仲間のクリスチャンとの間に不和が生じた場合
ギデオンの例について考えると
平和の種をまいて平和を刈り取るのに役立ちます
ギデオンはミディアン人と戦っていた時
仲間であるエフライムの人たちに追撃するよう頼み
ました
「裁き人の書」にある通りです
戦いは大勝利に終わりました
ところが エフライムの人たちは感情を害して ギ
デオンに詰め寄りました
もっと早く戦いに呼んでほしかった と不満をぶ
つけたのです
裁き人 8:1
「エフライムの人たちはギデオンに言った
『一体どういふつもりだミディアンと戦う時に
なぜわれわれを呼ばなかったんだ』
そしてひどく文句を言った」
この人たちは武装した兵士でした
もし不和が解決されなければ大変なことになって
いたかもしれません
もしかしたら殺し合いに発展していた可能性もあ
ります
ではこの時 ギデオンはどのように平和の種をま
いたでしょうか

2, 3 節を読みましょう
「ギデオンは言った『皆さんがしたことに比べれば
私は大したことはしていません
エフライムのブドウの収穫の残りは
アビエゼルの収穫に勝っているではありませんか
神はミディアンの高官オレブとゼエブを皆さんの
手に渡しました
皆さんがしたことに比べれば私は大したことはし
ていません』
[次です] ギデオンがこう話すと
エフライムの人たちの気持ちは治まった」
この時は 割とすぐに平和を刈り取れました
ギデオンは よく考えた言葉で平和の種をまき
1 回の会話で平和を刈り取ることができました
次のビデオの中で ある兄弟が
誤解が深刻な不和に発展しないためにどうするか
に注目しましょう
エホバの証人ってすごいですよね
何かが起きると 兄弟たちはすぐ助けに行きます
よね
そういえば あの時も仕事がたくさんあった・・・
援助を申し出る人がいつもいた
でも 働きたい人が多かったので
自分が外されているんじゃないかと思う人が出て
きた
あ レイ どうしたの？
マシュー 君が会衆の食料分配を担当してるん
だって？
うん 何とかやってる
何か手伝える？ 僕のトラック いつでも使えるよ
今日の荷物は全部積み終わったから 大丈夫かも
でも声を掛けてくれてほんとありがとう
そう じゃあ 次配るのはいつ？
実は これから出るところなんだ後でかけ直して
もいい？
ああ うん 分かった
レイは本当によく働く兄弟で
僕たちの知らないところでもよく動いていた
どんな奉仕も一生懸命やっていた
誰だったの？

「奉仕者は十分集まった」って伝えたら
思ってもない反応が返ってきた
レイ ミュートじゃない？
ということは 僕には奉仕に参加する資格がないってこと？
いや そうじゃなくって
お母さんのお世話 一生懸命してるでしょ だから
レイには・・・
ポールも今回入ってなかった？
うん そうだけど
あとオリバーは？
オリバーは補佐をやってくれているけど・・・
どうやって選んでいるの？マシュー
友達ばかり選んでほかの人は入れないんだ
兄弟たちが僕のことを無視しているとしか思えないんだけど
レイ
ほんと悪かった
ごめんね
最初からきちんと話しておけばよかった
レイはお母さんのお世話一生懸命してるよね
これ以上負担増やしたくないと思って
それもあるんだけど
レイとお母さんを感染のリスクにさらすようなことを
お願いしなくなかったんだ
そうだね それは僕も心配してる
そうだよな 万ー
お母さんに何かあったら大変だし
姉妹は会衆の宝だから
ありがとう
レイも大切だね
いやほんとにレイはみんなの手本だよ
エホバはレイが会衆やお母さんのためにしていることをよく見ている
そして喜んでいるよ
ありがとう すごくうれしい
もし ちょっとでもできることがあったら
リモートでもできることなら喜んでやるよ
あ それはいいね

じゃあ 早速何かお願いしようかな
いかがでしたか
2人ともいい兄弟でしたが
不完全さのせいで同じ状況を別々の観点から見ていました
マシューはレイのためを思って仕事を頼みませんでした
レイの母親が病気だったので配慮したのです
でも レイは腹を立てました
マシューが友達ばかりを選んで自分を無視していると言って責めました
では どう解決されましたか
まず 幸いなことに
レイとマシューは2人きりで話して
レイは気持ちを伝えることができました
その結果どうなったでしょうか
マシューはレイの話をよく聞いて
レイの気持ちを理解することができました
本当に良かったですね
それからどのように会話が続いていきましたか
マシューはレイの気持ちが分かった後謝っていましたね
ギデオンのようによく考えられた言葉を言ってレイを落ち着かせ
平和の種をまくことができました
1回の会話で平和を刈り取れました
では 今後仲間との間に不和が生じた場合
どのようにギデオンに倣えるでしょうか
テモテ第二に鍵があります
エフライムの人たちのことを思い起こすと
ギデオンに対してかなりけんか腰でした
剣を振りかざしているかのようでした
でもパウロの言葉に
ギデオンが示した態度がよく言い表されています
テモテ第二 2:24
「主の奴隷は争う必要はありません [言葉でも剣でもです]
必要なのは [ギデオンのように] 誰にでも穏やかに接すること
[そして大事なものは] 不当な扱いを受けても自分

を抑えること」です

簡単ではありませんが「不当な扱いを受けても自分を抑える」なら

平和の種をまくことができます

相手に落ち度があってもそれがささいな問題ならあえて取り上げないことにできるかもしれませんでもマシューの場合傷ついたレイに感情をぶつけられました

マシューは相手の観点が違うことに気付きました

謙遜に「最初からきちんと話しておけばよかった」と言いました

そのようにして平和の種をまくことができたのです

さて ギデオンは 1 世紀よりずっと昔の人でしたが

後にクリスチャンたちに与えられた大切な教えに従っていたと言えます

フィリピ 2:3 にあるように

「自分より他の人の方が上だと考え」ました

ギデオンは何と言っていたでしょうか

2 回も「私は大したことはしていません」と言いました

その謙遜な態度により

エフライムの人たちの気持ちは治まりました

どう做えますか

たとえ自分には落ち度がないように思えたとしても

不和が生じてしまったことについて謙遜に謝れます

相手のために祈ったり誠実に褒めたり 親切にしたりできます

そして 話し合う場合には快い言葉を優しく語るようにしましょう

クリスチャンの仲間との間に不和が生じても

素早く解決できるなら素晴らしいことです

でも その時の状況や

個性の違いや 問題の性質によって

うまくいかないこともあります

それでも 私たちは平和の種をまくために

自分にできることを行いましょう

そして いずれ平和を刈り取れることを確信して待ちましょう

そうすれば

素晴らしい平和の実を存分に味わうことができるでしょう

出版委員会の援助者ロバートルシオーニ兄弟がこのシンポジウムの次の話をします

主題は「平和の種をまいて平和を刈り取った人たち アビガイル」

平和をつくるのは簡単ではありません

私たちは不完全です

いろいろな問題に直面するので

普段でも平和をつくるには努力が必要です

でも もっと大変なのは

1 人で奮闘しなければならない場合です

家庭や会衆で 自分は平和をつくりたいのに

相手にその気がない場合難しく感じることでしよう

例えば 会衆内にいる自分の友達が

別の友達と仲たがいでいるものの

仲直りしようとしなないかもしれません

あるいは 家庭内で配偶者が聖書の教えに従おうとしないため

平和をつくるのが難しく感じる場合があります

どうしたらいいでしょうか

そういう場合に 聖書のアビガイルの手本を参考にできるかもしれません

サムエル第一 25 章を開いて

アビガイルと夫のナバルについて書かれていることを考えてみましょう

3 節には ナバルが「荒っぼ [い]」人だったと書かれています

25 節では アビガイルがナバルのことを

「分別がない」と言っています

17 節では ナバルの召し使いが

「ご主人はどうしようもない方で誰も何も言えない」と言っています

こういう性格の人でしたから

ダビデの部下たちにひどい態度を取ったのもうな

ずけます
ダビデは復讐心に燃えます
こういう状況でどうすれば平和をつくれるでしょうか
アビガイルはどうしましたか
考えてみると どうすることもできたでしょうか
何もしないという選択肢もあったでしょう
ナバルと一緒に暮らすのは大変だったに違いありません
それで ただ黙ってダビデの行動を見守ることもできたでしょう
あるいは ダビデに会いに行って火に油を注ぐこともできました
ナバルのせいで自分もひどい目に遭ってきた と話すこともできたでしょう
そのようにしていたら自分にとって楽だったかもしれませんが
そうしませんでした
アビガイルは 夫の行動を変えることはできませんでした
悲惨な争いに発展しないように
自分にできることをしました
サムエル第一 25 章に戻って
アビガイルの言葉に注目してみましょう
27-31 節を読みたいと思います
「あなたのために持ってまいりましたこの贈り物を
あなたに従う部下たちにお与えください
どうか私の違反をお許してください
あなたはエホバの戦いを戦っておられるのですから
エホバは必ずあなたの家系を存続させてください
あなたはこれまでずっと何の悪いこともしてこられませんでした
誰かがあなたを追跡して命を狙う時
あなたの命はエホバ神の命の袋の中に安全に包まれます
一方 神はあなたの敵の命を
石投げ器で投げる石のように放り投げます

エホバが約束通りあなたにさまざまな良いことをしてくださり
あなたをイスラエルの指導者に任命する時
あなたは 理由もなく人の血を流して
自分の手で復讐したという後悔の気持ちを抱くことはありません
エホバがあなたに良くしてくださる時
どうか私を思い出してください」
アビガイルはどうしたでしょうか
贈り物を持ってきてダビデの前でひれ伏し
「悪いのはこの私です」と言ってから
神の考えに沿ったことを話してダビデに訴え掛けました
アビガイルはダビデの気持ちを静め
災難を回避できました
まさに平和をつくったのです
アビガイルは自分のことよりも
エホバのお名前のためにどう行動するのが最善かを考えました
それは簡単ではありません
でもどうになりましたか
平和の種をまいたので平和を刈り取ることができました
この手本にどのように倣えるでしょうか
倣うことはなぜ大切でしょうか
次のビデオを見て 考えてみましょう
その後 状況が難しくなって
平和に仲良くやっていくことが試されたんです
でも ティムは みんなが前向きでいられるよう助けてくれましたね
その点は エイミーからいろいろ学びました
みんなが仲良くなれるようよく助けていたんです
例えば コロナが始まる前
2 人の開拓者の間でちょっとしたことがあったんです
ベッキーは 元気によく働き
物おじせずに伝道する人
レナは経験もあり 人のためによく動き
教えるのが上手だった
お互い受け入れられないところがあったみたい

です
もう行ける？
大丈夫？
はあ ベッキーったら 本当に形だけの開拓者なんだから
全然奉仕に出てこない
こんなこと言っちゃいけないけどもっとちゃんと奉仕した方がいいと思う
ベッキー 大都市の公共エリアやってるし・・・
うんうん知ってる で LDC もでしょ
確か 設備だっけ？
基礎工事 ベッキー体力あるからね
私たちも前はそうだったよね
ベッキー ほどじゃないと思うけどね
そんなことない 今のベッキーなんてもんじゃなかったじゃない
レナのペースに付いていけなかったあの赤い車で一日中奉仕したよね
すごい前のことに感じる
そうね
あのね ベッキー見てるとレナみたいって思う
ていうか 私たち 20 年前の
ベッキーはよく働くし
エホバへの奉仕を一生懸命やってる
レナみたいにね
今度一緒にお茶しない？ベッキーも呼んで
もっと知り合えるかもよ
次の週 2 人を家に呼んだんです
2 人とも お互いのことをよく知るにつれて
仲良くなれたんですよ
「賢い人たちの舌は人を癒やす」という格言
エイミーはその言葉を実践していました
よし みんな集合！
急に状況が変わって
同じ刑務所に入れられた時
みんなが一致するために
いつも平和を心掛けた
エホバの助けで
そうできた
エイミーにはどんな選択肢があったと思いますか

何もせず レナがベッキーに対して
ネガティブな感情を抱くままにすることもできた
かもしれません
あるいは レナに同意したり
自分もベッキーにいら立っていると言ったりして
火に油を注ぐこともできたかもしれません
でもそうしませんでした
レナがベッキーのことを違う観点で見ることができ
るように助けて
平和の種をまいたのです
その結果 2 人は仲良くなり
平和を刈り取ることができました
私たちも ぜひエイミーと同じような行動を取り
たいと思います
その点で使徒パウロが何と言っているかに注目し
てみましょう
ローマ 12:18 です
「できる限りのことをして
どんな人とも平和な関係でいるようにしましょ
う」
「できる限りのことをして」とあります
問題が深刻になる前に
できる限り平和の種をまくなら
会衆や家庭の平和に貢献できます
例えば 家の中で何かが燃えていたらどうしま
すか
そのうち消えると考えて無視しますか油を掛けま
すか
いえ もちろんすぐに消そうとしますよね
そうしなければ自分の家が大変なことになってし
まうと
分かっているからです
平和を乱すような問題が起きたときにも
同じことが当てはまります
何もせずに問題を放置したり
悪化させたりするならどうなるでしょうか
その問題のせいで 家庭や会衆が大変なことにな
ってしまうでしょう
では どうすれば平和の種をまくことができるで
しょうか

アビガイルの手本を思い起こしてみましょう
アビガイルは どうするのが最善かをよく考えて
行動しました
問題を放置したりしませんでした
敬意を込めて ダビデの気持ちを静めました
火に油を注ぐようなことにならないように注意し
ました
そうした点に倣いましょう
ほかにもどんなことができるでしょうか
聖書やエホバの証人の出版物を調べるなら
どうすれば平和の種をまけるかがさらに分かります
長老にアドバイスを求めることもできます
平和をつくるのが特に大変なのはどんな場合で
しょうか
アビガイルのように 家庭内の平和が乱されてい
る場合です
とてもつらいですね
そういう状況でも
配偶者の良いところに目を向けるようにしまし
よう
気に入らないところばかり見ないようにします
さて 現実的な見方も必要です
使徒パウロが何と言っていたか覚えていますか
ローマ 12:18 で
「できる限りのことをして」と言っていました
「できる限りのことをして」も
平和をつくれない場合もあるということです
そういう場合 自分のベストを尽くしたら
後はエホバに委ねるようにしましょう
では 平和をつくることをいつも意識するように
して
努力を続けていきましょう
会衆内でも家庭内でも
私たちが平和の種をまく努力をするなら
きっと平和を刈り取れるでしょう
たとえ相手がなかなか応じなくてもです
エホバとの平和と心の平和を味わい
満たされた気持ちになるからです
それでは 今後いろいろな問題が生じたとしても

ぜひアビガイルのように
平和をつくる人になりましょう
次に 教育委員会の援助者ウィリアム・マレンフォ
ント兄弟が
「平和の種をまいて平和を刈り取った人たち
メビボセテ」という話をします
私たちは不完全です
残念ですが それが現実です
不完全ですから 誰でも間違いをしてしまうこと
があります
それで 不公平な扱いを受けることもあります
仲間のクリスチャンからもです
めったにないことですが
中傷や詐欺の被害に遭うことさえあるかもしれま
せん
聖書に出てくる中傷の例を考えましょう
それはダビデ王の時代にイスラエルで起きたこと
です
メビボセテという名の人が
ツィバという名の人から中傷を受けました
その時にメビボセテがどう行動したかに注目した
いと思います
そうすると 私たちが平和の種をまいて
平和を刈り取るのに役立ちます
メビボセテの父親はダビデの親友ヨナタンで
祖父はサウル王でした
ヨナタンとサウルが死んだ時
ダビデ王は残されたメビボセテに
祖父の土地を全て与えました
そしてツィバをメビボセテの召し使いにし
メビボセテに与えた土地を管理させることにしま
した
しばらくして ダビデの息子が謀反を起こした
ため
ダビデはエルサレムから逃げました
その時ツィバがダビデに会いに行きます
ダビデがツィバにどうしてメビボセテは
一緒に来なかったのかと尋ねると
ツィバはメビボセテを中傷しました
全く事実ではありませんでしたが

「メビボセテは自分が王になることを望んでいる」
と言ったのです
残念なことに
ダビデはツィバのうそをうのみにし
メビボセテの土地をツィバに与えてしまいました
しばらく後に メビボセテはダビデ王に会って
自分がダビデと一緒に行かなかった理由について
説明します
そして ツィバがうそをついたことを伝えます
ダビデはメビボセテの話を聞いたものの
土地を元には戻さず
「ツィバと分け合いなさい」と言います
でもメビボセテは 不平を言ったり復讐心に燃え
たりせず
自分が平和をつくりたいと思っていることを示し
ました
不当な扱いを甘んじて受け入れたのです
メビボセテがダビデに何と言ったか
サムエル第二 19 章を見てみましょう
19 章の 30 節です
「メビボセテは王に言った
『王が無事に家に戻られたのですから
全部彼のものになっても構いません』」
そうです メビボセテにとって
ダビデ王が無事に戻ってきたことの方が
自分のことより大事でした
これから流れるビデオの中で
ある兄弟が不当に思える処置にどう反応するかを
見ましょう
そしてその後 どのように平和の種をまくかに注
目しましょう
僕たちは刑務所の中でデービッドに会ったんだ
よね
看守だった時にいろんな人を見てきましたが
こんな平和な人たちを見たのは初めてでした
牢屋に閉じ込められても
エホバからの平和はいつもありますよね
平和をつくるために努力したよね
フィル
そうでしたね

実は ちょっとした誤解があって
それが大きな問題になっちゃったんです
私の対応も良くなかった
自分の意見を言えば言うほど
状況が悪くなっていった
これは何かの間違いだと思います
私がこんなことするはずないじゃないですか
まさかこんなことになるとは思わなかった
もう 1 つお知らせがあります
フィリップ・キム兄弟は長老として奉仕しておら
れません
これで今日の集会は終わりますできる方は起立
して.....
その後の数カ月には本当に苦しかった
そのうち詳しい事情が明らかになり
また長老になれると思った
でもなれなかった
フィル！
なぜなのか分からなかった
フィル ちょっと待って
怒りが
頼むから
込み上げてきた
フィル ちょっとだけ・・・
自分のことしか考えられなかった
こんなことが許されるのか と思った
頭が真っ白になって
エホバのことが見えなくなっていたんです
エホバの助けが本当に必要でした
誤解されてもエホバに忠実に仕え続けた聖書中の
人たちの例を調べた
それを読んで考えさせられた
エホバの組織にいられるだけで
幸せなことなんだと気付かされた
兄弟たちとの平和は
どんな立場で奉仕するかということより重要な
です
平和がなかったら その後の変化に対応できたか
どうか分からない
関節 痛むんですね

私が書きますよ
エレミヤの秘書官バルクみたいに
フィルがいてくれてほんと助かるよ
では 私たち皆が考えたいのは
どうすればメピボセテの模範に倣えるかということ
とです
例えば 何かささいなうさを立てられたり
失礼なことをされたりしたらどうしますか
事を荒立てるのではなく
気にしないようにできるかもしれません
ペテロ第一 4:8 に従えます
その聖句にはこうあります
「何よりも 熱烈に愛し合ってください」
そして 愛するとどうなるかも述べられています
「愛は多くの罪を覆うからです」とあります
そうです 私たちが進んで愛を表すなら
相手の罪や不完全さを許すことができます
では もっと深刻な状況に置かれた場合にはどう
したらいいのでしょうか
例えば ビデオの中の兄弟は
長老の資格を失った時
自分は不当な扱いを受けていると感じました
疑いを晴らそうとしましたが
長老たちから思うような反応が返ってきませんでした
それで感情を害しました
心の平和を失い
結果として他の人たちとの平和な関係も損なわれ
てしまいました
兄弟は平和を取り戻すため
聖書をじっくり調べることにし
自分にとって参考になる例を探しました
そしてエホバに祈って助けを求めました
自制することや
神の聖なる力に導かれることの大切さを思い起こ
しました
その結果 心の平和を取り戻すことができ
平和の種をまくことができました
ダビデが下した不公平な決定について思い返して
みましょう

メピボセテに対して
「ツィバと土地を分け合いなさい」と言いました
悪いのはツィバで メピボセテは何もしていない
のにです
それでもメピボセテは 神の聖なる力に導かれて
いる人にふさわしい態度を示し
自分の権利に固執しませんでした
よく辛抱し
復讐心を抱いたりしませんでした
と一緒にサムエル第二 19 章を読んでみましょう
25 節から 28 節です
サムエル第二 19:25-28
「彼 [つまり メピボセテ] が
王を迎えるためにエルサレムに来た時
王は彼にこう言った
『メピボセテ あなたはどうして私と一緒に来な
かったのですか』
メピボセテは言った
『ご主人さま 王よ 私は召し使いのたくらみには
まったのです
私は足が不自由ですので
「ロバに乗って王と一緒にに行けるよう
くらを置いておいてください」と言ってありま
した
それなのに 彼は王の前で私のことを中傷しま
した
ですが 王は真の神の天使のような方ですから
王が良いと思うことをなさってください
私の父の家の者は皆
王に滅ぼされてもおかしくないのに
あなたは私を同じ食卓に着かせてくださいました
私には これ以上何かを王に求める権利などござ
いません』」
素晴らしいですね
メピボセテはあるもので満足していました
ほかに何も求めませんでした
それで心の平和を感じていたのです
私たちは 中傷や詐欺の被害を受けたらどうする
ことができますか
マタイ 18:15-17 のイエスの指示に従うことにす

るかもしれません

では その通りに行動したのに問題が解決されない場合はどうしますか

もうその件について それ以上追求しないことにするかもしれません

その方が 会衆の平和を乱すより良い場合があります

解決されない問題はエホバに委ねることができません

エホバは 私たちの行動も他の人の行動も見えています

いずれ物事が正されるようにしてくださることでしょう

私たちは憤りの気持ちを捨てるように努力する必要があります

そうすることは私たちのためになります

人を許すなら エホバも私たちのことを許してください

これは決して 仲間の重大な過ちを見過ごすということではありません

でも ぜひメビボセテに倣って

憤りの気持ちを捨て

平和を追い求めたいと思います

エホバから離れないように

詩編 55:22 のアドバイスに従いましょう

「重荷をエホバに委ねよそうすれば支えてくださる

神は正しい人が倒れることを決して許さない」

ローマ 15:13 に保証されている通り

エホバが「信仰を持つ皆さんを

あらゆる喜びと平和で満たして」くださいますように

奉仕委員会の援助者ジョエル・デリンガー兄弟がこのシンポジウムの次の話をしてください

主題は「平和の種をまいて平和を刈り取った人たち

パウロとバルナバ」

次に考える問題は何でしょうか

長老同士の口論や仲たがいです

長老の皆さん 経験がありますか

つかっとなってしまって強い口調で話したり

関係が悪くなってしまったりしたことがあるでしょうか

長老たちは模範的であることが期待されていますが

長老たちを含め 私たち皆は不完全だというのが現実です

生い立ちや性格や考え方などが違うので

誰かとぶつかってしまうことがあります

その状況を放っておくなら 平和が乱されてしまうことになりかねません

この話では 1 世紀にパウロとバルナバが

どのように平和の種をまいて平和を刈り取ったかを考えます

2 人の例から 現代の長老たちが仲たがいを解決するのに役立つ事柄を

ぜひ学ぶことにいたしましょう

ご一緒に使徒 15 章を開いて 36 節から 39 節を読みましょう

パウロとバルナバの間にどんな問題が生じたかに注目してください

使徒 15 章の 36 節からです

「何日か後 パウロはバルナバに言った

『さあ エホバの言葉を広めた全ての町に戻って兄弟たちを訪ね

どうしているかを見てみましょう』

バルナバは マルコと呼ばれるヨハネを連れていくことに決めていた

しかしパウロは パンフリアで

マルコと一緒に行動するのをやめてしまったことがあるので

彼を連れていくことに賛成できなかった

そこで怒りが激しくぶつかって

2 人は別れることになった

バルナバはマルコを連れて船でキプロスに向かった」

問題は何でしたか

パウロとバルナバは 宣教旅行にマルコを連れていくかどうかについて

意見が合いませんでした

もちろん 違う意見を言うこと自体は間違っていない

15:7 によると

エルサレムの使徒や長老たちは「活発な論議」を行い

それが良い結果につながりました
でもパウロたちはどうなりましたか
39 節を見ましょうここに「パウロとバルナバは
エホバに祈って合意に達した」と書かれていたら
よかったですね

でも残念なことにこの時の話し合いでは
パウロとバルナバの「怒りが激しくぶつかって
2 人は別れることに」になりました
2 人の友情に一時的にひびが入ってしまったよう
です

でも それは一時的でした
しばらくして パウロとバルナバは仲直りするこ
とができたようだからです

少し後に パウロは「ガラテアのクリスチャンへ
の手紙」の中で

バルナバと一緒にした活動について書いています
争ったことについては触れていません

さらに コロサイのクリスチャンやテモテに書い
た手紙の中で

パウロはマルコのことを褒めています
最後に書いた「テモテへの第二の手紙」の中では
こう言っています

「マルコを連れてきてください私の奉仕を支えて
くれるからです」

ですから パウロとバルナバは
仲たがいを解決することができたようです
では考えてみましょう
どうしてそうできたのでしょうかこれが理由です
仲たがいをするずっと前から 2 人は一緒に熱心に
宣教をしていました

何年もの間 聖書が言う「平和という絆」で
2 人は結ばれていたのです
ですから 友情に少しひびが入っても
2 人の絆が強かったのですぐに関係を修復するこ
とができました

では現代に当てはめましょう

次のビデオの中で ある長老はどのように平和の
種をまくでしょうか

この話には続きがあってフィルは知らなかったん
ですが

ティムとの関係が険悪になっちゃったんです
知りませんでした

もっと穏やかに
話していればよかったんです

ああなる前に

カール

ちょっと話があるんですけど

フィルの資格 再検討しないといけないんじゃない
んですか

フィルはあんな兄弟じゃないって・・・

いや いや もうフィルのことはいい友達だからそ
う言っているんだろ・・・

友達？

長老団はフィルには長老としての資格がないと決
めたんだ

友達？ 友達って 一緒に何年も働いてきた仲じゃ
ないですか

長老団は全員一致で資格がないと決めたんだ

カールが圧力をかけたからじゃないですか！

なんだって？

世の人からの反対がある上に

会衆の中でそんな圧力をかけてどうするんです
か！

本気でそんなことを？

話し合いというよりけんかになって ひどかった

2 人とも言い過ぎてしまった

その後の対応も良くなかった

なんとかする必要があった

簡単ではなかったけど

きちんと話し合った

エホバの助けで

仲直りできた

そうしていなかったら刑務所の中でどうなってい
たんだろうね

みんなと同じ監房に入れられてから

さっきのことをフィルに話したんだ
そうだったんですか
歌うよ！
行こうか
この世界がどんよりと暗く沈んでも
信仰の目には見える 明るい未来が
川を越えて山も越え その向こうまで
この地球の果てにまで……
では長老の皆さん次の点を考えましょう
どうすればパウロとバルナバに倣えるでしょうか
まず 仲間の長老たちに接する時にも聖書の教え
を当てはめる必要があります
ビデオの中で ティムとカールは激しくぶつっか
けていましたね
それが身振りや言葉や口調に表れていました
ティムは「けんかになってひどかった」と言って
いました
でもけんかの後 2 人はやがてどんな正しいこと
をしましたか
聖書の教えを当てはめて仲直りしました
ヤコブ 3:17 は 私たち皆が
「平和を求め 分別」を示す必要があると教えてい
ます
この点が以前の「ものみの塔」誌に次のように説
明されていました
「平和を作る人は慎み深く自分の考えを述べ
敬意を込めて人の考えに耳を傾けます ……
自分のやり方にこだわらず
他の兄弟の見解を祈りのうちに考慮します
たいいていの場合聖書の原則に反しないで
さまざまな見方を入れる余地があるものです …
…
経験のある監督は 平和を保つほうが
自分の思い通りに事を運ぶより重要であることを
心得ています」
当てはめたいですね
では 1 つ目の点として
仲間の長老と接する時にもぜひ聖書の教えを当て
はめましょう
そうすれば 意見が合わなくても対立してしまう

ことはないでしょう
ローマ 12:10 に学べる 2 つ目の点が書かれている
ので
そこを開いて読んでみましょう
ここで使徒パウロは 神の聖なる力に導かれて次
のように書きました
「兄弟愛を抱いて
優しい愛情を示し合いましょう
自分の方から進んで人を敬ってください」
長老の皆さん終わりの時代である今こそ
私たちはこのことを行う必要があります
互いへの愛をますます強くする必要がありますので
そのために 誰と話していても
仲間の長老をけなしたりせず褒めるようにしま
しょう
意見が合わなくても 腹を立てたり強い言葉を
使ったりしないようにします
仲間の長老の良いところや
一緒に奉仕してきた楽しい思い出について 思い
起こすようにしましょう
ビデオの中で ティムとカールがパウロとバルナ
バに倣い
平和を刈り取ることができて本当に良かったで
すね
簡単ではありませんでしたが
聖書の教えを当てはめて仲直りできました
カールはティムの家を訪ねた時
笑顔を浮かべていました
お土産はティムの大好きなパイだったかもしれま
せん
腹を割って話し合いました
そして 刑務所に入った後も友情が続いていま
した
ですから 互いへの強い愛を保っていたことがよ
く分かります
長老の皆さん 私たちもぜひそうありたいもので
すね
仲たがいをしても速やかに解決しましょう
そうすれば平和を刈り取れるだけでなく
パウロとバルナバのように

群れの模範になることができるに違いありません
統治体のスティーブン・レット兄弟が
このシンポジウムの最後の話をしてくださいます
主題は「平和の種をまいて平和を刈り取った人
たち 現代の例」
世の中の不正を目にしたとき
多くの人はどうのように反応するでしょうか
怒りを感じてどうにかしたいと思います
それでどうしますか
政治的な活動を行ったり社会運動に加わったり
して
政治の腐敗や社会の不正を正そうとします
対照的に エホバの証人は政治活動や社会運動に
加わりません
どうしてでしょうか 簡単に言うと
今の世の中の問題は人間の力では正せないことを
聖書から学んで知っているからです
伝道の書 1:15 には
「曲がっているものは真っすぐにできない」と書
かれています
サタンの世の中は 非常に曲がりくねって節くれ
立った木の幹のように
人間の力では決して真っすぐにすることはできな
いのです
ですから エホバが正せないと言っているさまざ
まな問題を正そうとして
時間や労力を費やすことにはあまり意味がありま
せん
さらに エホバの証人は問題だらけの世の中でも
平和や安心感を味わえるということを学んできま
した
ではこの点で 現代の 2 つの例を考えてみましょ
う
平和についてのエホバの考えを学ぶことができた
2 人の人の例です
その人たちの名前はエジディオナハクブリアと
フリードブルーンです
まずエジディオの例です
東ティモールのへき地で生まれたエジディオは
子供の頃に悲惨なゲリラ戦を経験しました

近所の人たちが何人も殺されたので次は自分かもし
れないと思いました
でも しばらくたってから首都に引っ越して大学
に入り
そこで同じような境遇で育ったたくさんの学生と
出会いました
エジディオたちは 政治活動をする学生のグルー
プをつくって
社会改革を目指しました
学生たちで政治デモを何度も行いましたが
大抵の場合 暴動に発展しました
多くの友人が負傷し命を落とした人もいます
後に エジディオは親戚と一緒にエホバの証人か
ら聖書を学び始めました
その時の心境についてこう語っています
「聖書を学ぶにつれ
本当の愛を知らなかったことに気づきました……
わたしの近寄りがたい風貌や乱暴な気質にもかか
わらず
証人たちは……『兄弟の愛情』を示してくれま
した」
間もなくエジディオはバプテスマを受けました
そして開拓者になって多くの人たちを助けるよう
になりました
ライフストーリーの結びで次のように述べてい
ます
「以前のわたしは怒りに満ち
自分は愛されていない 愛される価値もないと感
じていました
でも エホバのおかげで 真の愛と安らぎを見いだ
すことができました」
次はフリードの例です
フリードは幼い頃から 世の中の憎しみや争いに
心を痛めていました
特に 宗教が行ってきたことに
とても当惑していました
憎しみや争いが多い場合宗教によって助長され
支持され
少なくとも大目に見られてきたからです
1955 年 フリードはエホバの証人の大会に行きま

した

その後 エホバの証人と聖書を学ぶようになりました

いろいろな良いことを学びましたが

特に心を動かされたことがありました

それは「大娼婦」つまり大いなるバビロンの実体を知ったことです

その大娼婦は啓示 17, 18 章に出てきます

その大娼婦が表しているのは 世界を惑わしている間違った宗教全体です

説明されてとりわけ印象に残ったのは啓示 18:24 でした

そこには「彼女 [つまり大娼婦] の中には 地上で殺された全ての人の血が見いだされました」と書かれています

それでフリードは 間違った宗教は 決して国際的な平和をもたらせないことを理解しました

そうした宗教は政治を支持し分裂していて 戦争をするからです

対照的に エホバの証人は国を超えた家族のような関係で

イエスの教え通りに行動していることが分かりました

フリードは急速に進歩しました

バプテスマを受け 開拓者になりギレアデ学校に行きました

そして 長年グアテマラで奉仕し多くの人たちを助けてきました

本当の平和をどうすれば見いだせるかを教えてきたのです

では エジディオとフリードの例から私たちはどんなことを学べるでしょうか

主に 3 つの点を考えましょう 1 つ目です

政治の腐敗や社会の不正は

政治活動や社会運動では

決して正すことができない ということを覚えておきましょう

こんな例えを聞いたことがあります

ある人が必死にクモの巣を取り除こうとしますが

クモを退治することができません

クモの巣を取ってもすぐにまたクモが作るという繰り返して

問題が解決しません

サタンはいわば この例えの中に出てくるクモのようです

サタンが腐敗や不正の根本原因なので

サタンがいる限り問題は解決しません

人間にはサタンを退治できませんずっと強いからです

解決には 人間よりずっと強い力が必要です

その力を持っているのが神の王国です

神の王国は クモの巣のような問題を取り除くだけでなく

クモであるサタン自身も取り除くことができます では 2 つ目の点です

政治デモなどは多くの場合暴力的な活動に発展します

暴力は平和とは正反対のものです

私たちが追い求めるのは平和であって

暴力などではありません

3 つ目の点ですほかのいろいろな宗教とは違って エホバの証人はあらゆる人と平和な関係でいることを望んでいます

ですから サタンの世の中のさまざまな争いで

どちらかの側に付くことは決してしません

ある若い兄弟の伝道での経験を思い出します

ある女性が感情的にこう言いました

「あなたが自由を味わえるのも

私の息子が戦争で戦って死んだからよ

あなたは国のために戦わないの？」

兄弟は穏やかにこう言いました

「息子さんが亡くなられたことは本当に残念です

でも 1 つ言えることがあります

あなたの息子さんを殺したのは

絶対にエホバの証人ではありません

ほかの宗教はどうか分かりませんがエホバの証人は人を殺しません」

カトリックだったその女性は

エホバの証人が中立であることを理解したことで

しょう

では 今考えた 3 つの大切な点を覚えておくように
にしましょう

この大会を視聴している聖書に関心がある皆さん
もしまだ聖書レッスンをしていないなら
ぜひエホバの証人と聖書を学んでみることを心か
らお勧めします

本当の愛を表すことが最高の生き方であることが
分かるでしょう

社会を分裂させているさまざまな問題も 愛があ
れば乗り越えられます

イエスがはっきり述べた通り

真のクリスチャンを見分けるしるしは 愛です
ヨハネ 13:35 には

「あなたたちの間に愛があれば全ての人は
あなたたちが私の弟子であることを知ります」と
あります

聖書に関心がある皆さんこの本物の愛が
エホバの証人の間に見られるかどうかぜひ確かめ
てください

すでにエホバの証人である皆さんは何ができるで
しょうか

ぜひ「信仰で結ばれた兄弟たち全員を愛」するよ
うに

引き続き努力を払ってください

そのためには 世の中の政治的な事柄や他のさま
ざまな問題において

いつも中立の立場を取る必要があります

イエスがいつも中立だったようにです

ヨハネ 17:14 でイエスは弟子たちについて

「私が世の人々のようではないのと同じように
彼らも世の人々のようではない」と言いました
では 伝道で人と話す時であれほかのどんな時で
あれ

政治的な事柄については

いつも中立を保つようにしましょう

こういう法律を作った方がいいなくした方がいい
変えた方がいい などと言ってはなりません

自分の見方を他の人に押し付けるべきでもありま
せん

中立を保つために大事なこととして

自分の考えがメディアの影響を受けないように注
意しましょう

ニュース報道には偏った見方が表れていることが
少なくありません

ですから うのみにするべきではありません

考え方の面で中立であるなら

言葉や行動においても中立であることができます
もし皆さんがクリスチャンとして中立の立場を貫
くなら

誠実な人たちが真理に引き寄せられるかもしれま
せん

私たちはこのシンポジウムを通してどんなことを
学べたでしょうか

それぞれの部分で学んだ要点を 1 つずつ思い起こ
してみましょう

1 つ目の話は「ヨセフと兄たち」でした

要点は 憤りの気持ちを捨て去ることによって平
和の種をまくことができます

2 つ目の話は「ギベオンの人たち」

自分の望んでいることと違ったとしても
謙遜にエホバの指示に従うことが大切です

3 つ目は「ギデオン」

不和が深刻な問題に発展しないように

よく考えられた快い言葉を語るように努力でき
ます

4 つ目は「アビガイル」

平和をつくるためにベストを尽くして

後はエホバに委ねることにしましょう

5 つ目は「メピボセテ」

被害を受けたままにする方が

会衆の平和を乱すより良い場合があります

この点に少し付け加えると

自分の名誉よりも エホバの評判を守ることの方
がはるかに大事です

そのことをいつも忘れないようにしましょう

ですから 自分のことよりも

会衆の平和を守る方がよい場合があるのです

そして この話は「現代の例」でした

神の民と共に平和の神に仕えるなら

平和を味わうことができます
このシンポジウムを通してどうすれば平和の種を
まけるか
多くの点を学びました
ぜひ平和の種をまき続けましょう
そうするとどうなるでしょうか
答えは このシンポジウムの最後のビデオを見る
と分かります
ご一緒に見ましょう
私も話したいことがあります
まだ気付いていなかったのですが
私の心に真理の種がまかれていたんです
皆さんは明らかに違っていました
なぜだろう と思いました
刑務所にいるのに
皆さん自由に見えました
そんなのは初めて見ました
皆さんが釈放されてから
皆さんには神の祝福があったんだということが
はっきり分かりました
その違いはなんだろう と思いました
フィルが答えを教えてくださいました
「真理を知り
真理によって自由になります」
フィルは 真理に従って生きるよう勧めてくれま
した
最初は難しく感じました
世界がひどく混乱しているのに
平和を賞き神の王国を待つという感覚が
どうしても分かりませんでした
でも エホバの助けと
皆さんの辛抱のおかげで
大患難が始まる前に
バプテスマを受けることができました
ヨセフ 私たちは投獄された時
牢屋に入れられてもエホバがいつも共にいたと
いう
あなたの話から本当に力をもらっていたんですよ
ある時カール 言っていましたよね
なんでしたっけ？

「いつかヨセフを呼んで食事会をして
みんなで『ありがとう』って言おう」
実現してうれしいです
いや 感謝したいのは私の方です
皆さんのそれぞれの話を聞いて
感動しました
皆さん 私のことよく知っていると思いますけど
もう少しお話ししてもいいですか
ぜひ！たくさん聞きたいことがあります
エジプトのこととか
ファラオどんな人でした？
あ 夢！夢のことも聞かなくっちゃ
ほんとにたくさん質問あるんですね
いくらでも喜んでお話ししますよ
神エホバに感謝すべきことに
時間はたっぷりありますからね
感動的なビデオでした
一生懸命に平和の種をまくなら
私たちは自分自身や他の人たちを救うことになり
ます
このシンポジウムを通して
聖書のどんな基本的な真理について学べたでしょ
うか
それはガラテア 6:7 に書かれていることです
「人は自分がまいているものを
必ず刈り取るようになります」
例えば トマトの種をまいたら
必ずトマトを刈り取れます
この基本的な真理は平和にも当てはまります
平和の種をまくなら必ず平和を刈り取れます
もちろん 平和の種をまいてから
平和を刈り取るまでに時間がかかる場合もあるで
しょう
でも粘り強く平和の種をまくなら
私たちは心の平和や
他の人たちとの平和 そしてエホバとの平和な関
係を刈り取れます
また 永遠に生きるという報いも刈り取り
平和に満ちた世界でいつまでも幸せに暮らせませ
う
平和の種をまくべきなのは今です

そうすれば 将来ずっと平和を刈り取れるのです
時間や労力を費やす価値があると言えますね
では 今平和の種をまいて
永遠にわたって平和を刈り取りましょう
兄弟たち ありがとうございます
話で取り上げられた良い手本に倣い
今平和の種をまいて 永遠にわたって平和を刈り
取りたいと思います
では 28 番の歌を歌いましょう
主題は「エホバの友となる」です歌は 28 番です
招待に応じてこの大会を視聴してくださっている
皆さんを
温かく歓迎いたします
今の世の中で本当の友達を見つけるのは簡単では
ありません
では 神と親しくなって友達になることはできる
のでしょうか
もしできるとしたら何をすればよいのでしょうか
統治体の成員 ケニスクック兄弟が
講演の中でそうした点に答えてくださいます
主題は「神と友達になるには」です
神と友達になることなんてできないと思いますか
そう思っている皆さんに
ぜひ知っていただきたい点があります
今 何百万人もの人たちは
実際に神と友達になっています
その人たちは平和で充実した毎日を送り
いつまでも平和に暮らせるという希望を持ってい
ます
自分もそうなりたいと思うなら
ぜひ聖書に基づくこの話を聞いてください
なぜ聞いていただきたいかという
多くの人は神の友達になれるのかという重要な質
問について
考えようとしなからです
多くの人がこのことを気に留めないのはなぜで
しょうか
理由はさまざまです
ある人たちは 神なんて遠い存在だと考えてい
ます

神はいないとか 人間には関心がないと言う人も
います
神は謎めいていて 残酷で 厳しくて
要求ばかりすると言う人もいます
多くの宗教では 神が悪人を永遠の責め苦に遭わ
せると教えています
そのような神と友達になりたいと思いますか
とてもそうは思えないでしょう
ある人たちは 世の中の不公正や苦しみを見て
神は死んでしまったに違いないとか
初めからいなかったんだと言います
ある人たちは 自分は悪いことをたくさんしてし
まったので
神の友達になんてなれないと思っています
あなたもそんなふうに思ったことがありますか
もしそうなら この話はきっと役立つでしょう
4 つの点を考えます
自分も神と友達になれると思えるかもしれません
では考えていきましょう
1 つ目に 私たちを神から引き離したのは罪です
2 つ目に 神は人間のために自分の方から行動し
良い関係を取り戻せるようにしてくださいました
3 つ目に いつまでも神の友達でいるためには
しなければならないことがあります
4 つ目に 神の友達になる人は
今も将来も平和を楽しめます
では 1 つ目の点を考えましょう
私たちを神から引き離したのは何でしょうか
一言で言うと罪です
なぜそう言えますか
なぜなら 真の神は清く聖なる方で
行いが完全だからです
罪が全くなく 最高度に清い方です
人間は誰一人 神と同じほど聖なる状態になるこ
とはできません
「人間」と「不完全」という言葉について考えま
しょう
人間といえば不完全不完全といえば人間です
そうではないでしょうか
人間の歴史を見ると

その現実が痛いほどよく分かります
罪や不完全さによって壁ができました
私たちと神との間にです
私たちは神から引き離されてしまったのです
その点はイザヤ 59:2 に書かれています
「あなたたちは自らの過ちによって神から引き離された……
あなたたちの罪のせいで神は顔を隠した」
「神から引き離された」とあります
生まれつきこういう状態です
でも私たちが罪人なのは
人間を造った神のせいではありません
最初の人アダムとエバは完全でした
でも神への感謝を忘れて自分勝手になり
神との友情を失いました
神に罪を犯したので 神と平和な関係でいられなくなり
敵になりました
2 人から生まれた子孫は
罪と死を受け継ぎました
どれほどひどい結果になったかが
ローマ 5:12 に書かれています
ここで使徒パウロは罪と死がどう関係しているのかを
短い言葉で説明していますこうあります
「このような訳で 1 人の人によって人類に罪が入り
罪によって死が入り
こうして全ての人が罪人になったために
死が全ての人に広がった」
「死が全ての人に広がりました
この罪というパンデミックは
感染率が 100 パーセントです
死亡率も 100 パーセントです
誰も逃れられません
「全ての人が罪人になったために
死が……広がった」とあります
自力ではこの状態から抜け出すことができません
深い穴の中に落ちて
出口が見えないようなものです

でも希望がないわけではありません
神は全ての人を敵と見ているわけではないのです
ご自分の友と見ている人もいます
例えば「ヤコブの手紙」 2:23 は
アブラハムという人についてこう言っています
「『アブラハムはエホバに信仰を持ち
そのことは正しいと見なされた』……
アブラハムはエホバの友と呼ばれるようになったのです」
アブラハムは私たちと同様不完全でした
でも 神の友と呼ばれるようになりました
不完全な人間がどうして神の友達になることができるのでしょうか
簡単に言うと 神の方から行動してくださいました
私たちとの良い関係を取り戻すために行動し
私たちが神に近づくようにしてくださったのです
どのようにでしょうか
まず聖書によると
神は私たちがご自分を知り
ご自分との友情を育むことを望んでいます
実際 そうするよう勧めています
使徒 17:27 によると
神は私たちが神を誠実に知ろうとすることを願っています
実際「神は 私たち一人一人から遠く離れてはいません」
次はとても大切です
神は自分の方から
子であるイエスを犠牲として与えてくれました
私たちを罪から自由にするためです
神はこのようにして最大の愛を示してくださいました
ヨハネ第一 4:10 を読みながら
神がどれほど大きな愛を示してくれたかについて
考えてみてください
私たちとの間にできた壁を取り除くため
自分の方から行動してくれたのです
ヨハネ第一 4:10

「私たちが神を愛したというより
神が私たちを愛し
私たちの罪を償う犠牲としてご自分の子を遣わし
てくださったのです
これこそが愛です」
「神〔は〕私たちを愛し……
ご自分の子を遣わしてくださ」いました
神は犠牲としてご自分の子を遣わしました
その犠牲には罪を「償う」力があります
どうということでしょうか
アダムは完全な命を失いました
イエスが犠牲として差し出したのも
人間としての完全な命です
アダムは神に反逆してしまったため
完全な命を失いました
その結果 アダムの子孫は
罪を代々受け継ぎ
神から引き離され神との友情を失ったのです
贖いと呼ばれるイエスの犠牲には
アダムが失ったものを取り戻す力があります
神の公正という基準にかなっているからです
神は大きな犠牲を払ってこの贈り物をしてくれま
した
神は私たちにご自分のことを知ってほしい
友達になってほしいと願っているのです
私たちが神と親しくなり友達になれるよう
神の方から行動して
道を開いてくれたことをうれしく思いませんか
3 つ目です私たちには何が求められますか
謙遜さです 神からの贈り物を謙遜に受け取る必
要があります
謙遜であれば 神の憐れみが必要であることを
認め
感謝を表すために精いっぱいのことを行うはず
です
「使徒の活動」 3:19 にある通り
「悔い改めて生き方を変え」なければなりません
ですから 憐れみを含む神からの贈り物を頂く
には
悔い改めることによって考え方を変え

行いや生き方の点で
必要な変化を遂げなければならないのです
そうする機会は全ての人に開かれています
創造者である神は全ての人に憐れみを示してい
ます
友達になりたいと思っています
そのために必要なことを全部してくれました
私たちがすべきなのは感謝して 謙遜になり
次のことを行うことです
イエスとイエスの教えを受け入れることです
神はイエスの手本に倣うようにと言っています
どの程度倣うべきでしょうか
ヨハネ 14:6 でイエスはこう言っています
「私は道であり 真理であり 命です
私を通してでなければ 誰も父のもとに行くこと
はできません」
ですから 神の友達になるには
イエスにしっかり従う必要があります
ここまでで 人間が罪によって神から引き離され
たこと
また私たちが神の友達になれるよう
神がどのように壁を取り除いてくださったかを考
えました
では次の点を考えましょう
私たちは神の友達になるために
何をしなければならいでしょうか
一緒にヤコブ 4:8 を開いて考えてみましょう
聖書をお持ちであればどうぞ目で追ってください
ヤコブ 4:8 です
次の点に注目してください
どんなことが呼び掛けられているか
神は何をしてくれるか
私たちは何をすべきか ですからあります
「神に近づいてください そうすれば神は近づいて
くださいます
罪人たち 手を清めてください
優柔不断な人たち心を清めてください」
まず「神に近づいてください」と呼び掛けられて
います
神に近づくなら神は何をしてくれるのでしょうか

「近づいてくださいます」
でも神に近づいてもらうため
しなければならないことがあります
神の基準に従って
自分を清めなければなりません
そのためには努力が必要です
神の基準を学ばなければなりません
その基準が一番良いものであることを信じ
それに従うことを決意しなければなりません
神に喜ばれたい 神の友達になりたいという気持ちからそうします
では どうすれば神との友情を育てられるでしょうか
進んで行動し努力することです
植物を育てているとしましょう
植物には世話が必要です
定期的に水をやり 成長に適した環境を整えなければなりません
神との友情を育てるためにも同じようなことが必要です
聖書を学ぶことによって神との友情を育てることができます
聖書から神について大切なことを学べます
神の名がエホバであることが分かります
私たちは友達を名前で呼びます
ですから 神の名を使うことは大切です
ヤコブ 4:8 に書かれている通り
私たちが神に「近づ」くために誠実に努力する
なら
エホバは「近づ」いてくださいます
エホバは 決して真の友を見捨てたりしません
ヨハネ 17:3 にある通り
神のことを知るなら
「永遠の命を得る」ことができます
これはエホバが真の友に惜しみなく与える
貴重な贈り物です
あなたも神の友達になって幸せに暮らしたいと思いませんか
そうであれば ぜひエホバの証人と無料の聖書
レッスンを楽しんでください

テキストは「いつまでも幸せに暮らせます」という出版物です
これです
エホバの証人から印刷版や電子版を入手することができます
最初の 3 つのレッスンは「聖書はどのように役立つ？」
「聖書を読むと希望が持てる」
「聖書は信用できる本？」です
こうした点を学び
書かれている真理に沿って神を崇拝するようお勧めします
ここまでで 神の友達になるにはどうしたらよいかについて考えました
まず聖書を学んで神について知ることです
イエスは そうすれば「永遠の命を得」られると言いました
そして神の名を知り 使うことです
神の友達になりたいと願う人がしなければならぬことは
ほかにもあります
神の性格に倣うこと
神が嫌うことを考えたり行ったりしないこと
神の友達になりたい人と交友を持つこと
神の基準を無視したりばかにしたりする人と
付き合わないようすることです
今挙げた中に 神の友達になりたい人との交友を持ち
神の基準を無視したりばかにしたりする人と
付き合わないようすることがありました
これは当然ではないでしょうか
先ほどの植物の例えを思い出してください
水や肥料をやるだけでなく
植物が成長しやすい環境を整えなければなりません
私たちにも良い環境が必要です
そのためには 神の友になりたい人を友にしなければなりません
では 神の性格に倣うことについてはどうでしょうか

不完全な私たちにできるのでしょうか
神の性格の 2 つの特徴を取り上げ
どのように倣えるかを考えましょう
まず愛について考えます
神のような愛を身に着け神の友達になるには
イエスが教えたことを実践しなければなりません
例えばイエスはこう教えました
「人からしてほしいと思う通りに人にもしなさい」
シンプルな教えですが実践するには努力が要ります
でも不可能なことではありません
神の友達になりたいと思う人は
そのために一生懸命努力します
神の愛に倣うには 神のような愛情深いまなざし
で人々を見る必要があります
相手の身になって考え何を必要とし 何を心配し
どんな心の痛みを抱えているかを理解するよう努
めましょう
けがや病気や老化のために
つらい思いをしているかもしれません
気分が落ち込んだり 心配事を抱えたりしている
人もいることでしょう
その人にしか分からないような問題もあります
例えば 若い人には高齢の人の気持ちがなかなか
分からないかもしれません
ちょっと考えただけでは年を取るといのが
ということが分からないでしょう
では どうすれば神のような愛を身に着けられる
のでしょうか
高齢の人の気持ちがある程度理解できるようにな
るまで
話によく耳を傾けることです
そうすれば 神のような愛を少しずつ身に着けら
れます
エホバの友達になりたいと思っている人は
エホバの愛に倣い 相手が本当に必要としている
事柄を考えて行動します
では 神の性格の 2 つ目の特徴である親切に注目
しましょう
神の友達になりたいと思う人は

人に親切でなければなりません
この点についてもイエスの言動から多くを学べ
ます
イエスは至高者である神が
「感謝しない悪人にも親切」だと言いました
イエスは天のお父さんエホバの親切に感動し
同じような親切を示しました
どのようにそうしたのでしょうか
自分がこういうことを言ったらあるいはこういう
ことをしたら
相手がどんな気持ちになるだろう とよく考えた
のです
ある時 罪人として知られる女性が
イエスの所に来て 泣いて
涙でイエスの足をぬらし始めました
イエスは彼女が悔い改めていることを見て取りま
した
そして不親切にあしらったらとても傷つくに違ひ
ないと思いました
天のお父さんと同じように
この女性の良いところを見たのです
そして彼女を褒め
彼女の罪を許しました
私たちもどうすれば神の親切に倣えるでしょうか
いつでも誰にでも
優しく接することによってです
親切な人は 相手の気持ちを察することができ
ます
相手の感情を傷つけないよう気を付けます
自分がこういうことを言ったら
こういうことをしたら相手はどう思うだろうと考
えるのです
神の友達である人は人にそのように接します
一緒にエホバの愛と親切について考えました
このように聖書を読んで学んだことを当てはめる
ことは
本当に私たちのためになります
神と友達になることができます
神の素晴らしい性格に近づくこともできます
次のビデオをご覧ください

聖書を使ってどのように神との友情を育てることが
できるでしょうか
神様にこう祈ったことがありますか
「もしおられるならどこにおられるのですか
私のことを気に掛けてくれていますか」
昔から 世界中の多くの人が
人間を造った神について知りたいと思ってき
ました
父親のことをよく知らない女性がいたとします
「あなたはお父さんに捨てられたのよ」と言われ
て育ってきました
でも 心の中では「それは違う」と感じていました
ある日 父親から手紙が来ました
手紙を読んで お父さんは生きていて
自分が生まれた時からずっと気に掛け
助けになりたいと思ってくれていたことが分か
りました
そして お父さんがどこにいるかも分かりまし
た
その後
会うことができました
お互いのことをよく知って
親友のような強い絆が生まれました
聖書は お父さんともいえる神からの手紙のよ
うなものです
聖書を読むと
神にどのように祈れるか
神はどのように答えてくれるか
私たちのことをどれほど気に掛けてくれている
かが分かります
また 考えたこともないような
素晴らしいことが可能になると言っています
神と友達になれるのです
神と友達になるには
まず名前を知る必要があります
神はその名前を教えてください
「エホバという名を持つあなただけが
地球全体を治める至高者である」と言っています
そして こう約束してくれています
「神に近づいてください
そうすれば神は近づいてくださいます」

優しいお父さんエホバは
神を知ろうとする人を喜んで友達にしてくれます
あなたは神の友達になりますか
そのことや ほかの点についてもっと知りたい
方は
jw.org をご覧ください
とても興味深いビデオでした
あなたも神について知りたいと思いませんか
あなたも呼び掛けに応じ
神の友達になるために頑張りたいと思いま
すか
聖書には そのために必要なアドバイスが書か
れています
聖書のアドバイスに従うなら
将来 幸せになれる
それだけではありません
今も幸せになれる
エホバの友達になるなら
平和で幸せな生活ができるのです
神の友達になるなら
神はあなたの祈りを聞き憐れみを示してくれ
ます
罪が許されていることを知ると
深い喜びを味わえます
詩編 32:1, 2 にはこうあります
「違反を許され罪を覆われる人は幸せだ
エホバから罪があると見なされない人……は幸
せだ」
エホバに許してもらえるのは本当にうれしいこ
とです
以前にしまったことのために罪悪感を抱いて
いるとしても
心配は要りません
神を知り 神の友達になる前にしてしまったこ
とは許されます
あなたも神に許してもらうことができるので
す
ビデオにあったように 聖書を学ぶと神にどの
ように祈れるか
祈りがどのように聞かれるかが分かります
また 神の許しや助けを求める祈りを含め
神が祈りを聞いてくれることを確信できるで
す

よう

格言 15:29 には
エホバは「正しい人の祈りを聞く」とあります
正しい人とは
エホバが求めていることに従って生きようと努力
する人のことです
神の友達になれるのは本当にうれしいことです
神は私たちの努力に目を留め
祈りを聞いてくださるのです
それだけではありません
神の友達になるなら他の人との平和な関係も楽し
めます
イエスも他の人と平和な関係でいるよう勧めま
した
敵でさえ愛するよう教え
お返しを期待せずに善を行うようにと言ったの
です
また ルカ 6:36 ではこう言っています
「天の父が憐れみ深いように憐れみ深くありな
さい」
そのように努力するなら
人々は心を動かされ
自分も神の友達になりたいと思うでしょう
ホセという男性は神の友となっている人たちと
接し
神と人を愛するようになりました
ホセは 13 歳の時 ゲリラ活動に加わるようになり
ました
世の中に見られる不公正を嫌い
その原因になっていると思えた人たちを
憎むようになりました
皆殺しにしようと思いました
そして戦いで多くの仲間が命を落とすと
ますます怒りと復讐心に燃えるようになりました
手りゅう弾を作りながらこう考えました
「なぜこんなに苦しみがあるんだろう
神はどうして何もしてくれないんだ？」
ホセは何度も涙を流しました
混乱し 失望しました
ホセはやがて 地元の会衆のエホバの証人と出会

いました

初めて行った集会で 何て愛にあふれた雰囲気な
んだろうと思いました
みんなが温かく歓迎してくれました
しばらくして 神が悪の存在を許しているのはな
ぜかについて学び
ずっと抱いていた疑問の答えが分かりました
聖書の知識が深まるにつれ
考え方や生き方が変わりました
神のような愛を身に着けるよう努力し
神の友達になりました
でも 昔の仲間と関係を断つのは大変でした
王国会館に行くたびに
昔の仲間が後をつけてきました
中には集会に出席した人もいます
ホセがどうしてそんなに変わってしまったのか知
りたかったのです
やがて ホセが危険な存在ではないことが分かり
干渉なくなりました
ホセは 17 歳の時バプテスマを受けました
神の友達になったホセは
全時間 伝道するようになりました
人を殺そうとするのではなく
愛と希望にあふれたメッセージを伝えるようにな
ったのです
エホバの友達になるなら
本当に良い結果になります
以前は敵だった人たちも互いに仲良くなり
神の友達になることができます
まとめてみましょう
まず 神の友達になれるのはなぜかということを
考えました
聖書に書かれている通り
神は昔 何人かの人を友と呼びました
神が私たちとの良い関係を取り戻すため
何をしてくれたかも学びました
神は子であるイエスを遣わしてくれたのです
エホバ神はイエスを贖いの犠牲として与え
私たちを罪から解放してくれました
また 神の憐れみを受け神の友達になるために

神の言葉 聖書を学び
神の性格に倣う必要があることも学びました
そして どうすれば今幸せな生活を送り
他の人と平和な関係を持てるかも考えました
エホバはご自分の友が平和な世界で永遠に生きら
れるようにしてくれます
あなたもそこで生活したいと思われませんか
もしそうなら ぜひエホバの証人と聖書を学ぶよ
うお勧めします
聖書には 苦しみや悲しみのない世界が
いつまでも続くことが約束されています
神はご自分の友の顔から涙を拭い去り
いつまでも幸せに暮らせるようにしてくれるの
です
これは単なる夢ではありません
神の約束は必ず実現するからです
ありがとうございました神と友達になるなら
平和に暮らせることが分かりました
今 平和を愛する多くの人が
神と聖書に信仰を持つようになっています
お望みであれば 聖書を無料で学ぶことができ
ます
時間と場所をご都合に合わせてられます
エホバの証人にお尋ねになるか
jw.org から聖書レッスンをお申し込みください
お近くのエホバの証人が喜んでお手伝いします
言語によっては jw.org に
自習形式のオンライン聖書講座も用意されてい
ます
これで 3 日目午前の部を終了します
次の部ではドラマを楽しむことができます
「エホバは平和へと導いてくださる」というドラ
マの第 2 部です
その後 大会最後の話をお聞きます
では 神の約束に対する確信を強める歌を歌いま
しょう
一緒に歌うのは 147 番の歌です
主題は「約束された永遠の命」です
歌は 147 番です
その後 それぞれの場所で祈りを捧げてください